

しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2020年9月号 (通算第56号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

ある日の午後4時ころの歩道での出来事です。右側から数人の高学年の元気な男の子たちが、わいわいがやがやとおしゃべりをしながら下校してきます。左側からお年寄りがややヨロヨロしながら歩いてきました。

すると、男の子たちが、さっとはじによってお年寄りを通してあげました。お年寄りが「有難う」とお礼を言うと、男の子たちが大きな声で「気を付けてね」と言いました。素晴らしい子どもたちです。

親のしつと、担任の指導が素晴らしいのかな……。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



最近、手紙やはがきではなくスマホやメールで済ます人が多くなりました。ですから、使用済み切手や書き損じはがきはめったに出なくなりました。それでも切手を貼った手紙がきたり、はがきを書き損じたりすることがあります。

ある小学校の保護者の有志は、児童会と協力して、使用済みの切手や書き損じはがきを集めています。そして、それを、困っている人を助けるために寄付しているそうです。

自分たちの今できることをして、困っている人のために活動することは、素晴らしいことです。私も、協力するようにしています。

学校の先生がたへ

ある小学校のA先生が、ある事について、自分の授業実践例と考えをまとめました。印刷して、周りの人に配り、ご指導をお願いしましたが、全く反響がありませんでした。

それで、思い切って、著書や雑誌で度々名前を見かける先生方に、(多分駄目だろうと、大きな期待をしないで) ご指導をお願いしてみました。

10日ほどすると、なんと、道徳教育のYO先生、学校教育全般に造詣の深いMT先生、ご自分で教育研究センターを立ち上げて活躍中のRT先生、元大学教授のKO先生から、心温まるご指導の手紙やはがきが来たそうです。

その内容は、いい所、改善した方がいい所とヒント、異なる視点から取り入れたいことなどが、簡潔に書いてあったそうです。誰もがこのようなことをしたら大迷惑になりますが、A先生にとっては、「青天の霹靂」だったと、大感激でした。

(BOKE 三宅)

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



